

## 小山市

### 認定こども園 栗の実幼年消防クラブ

栃木県小山市認定こども園 栗の実幼年消防クラブ

理事長 平野 章雄



火災から命と財産を守るために必要な知識と意識を楽しく学べる場として「認定こども園 栗の実幼年消防クラブ」は、平成19年11月27日に発足しました。このクラブは、幼い子どもたちに防火防災の基本を教え、自分自身だけでなく周囲の人々を守る大切さを伝えることを目的としています。

クラブ活動では、絵本やゲームを活用した防火防災教育を行い、「火遊びは危険」という重要なメッセージを遊び感覚で子どもたちに伝えていきます。このようなアプローチにより、子どもたちの記憶に深く刻まれる学びの場となっています。

中でも、子どもたちが毎年楽しみにしているのが「幼年消防クラブ連合会フェスティバル」です。

このイベントでは、各幼年消防クラブが一堂に会し、消防士さんとともに遊びながら火災予防の大切さを学びます。

特に人気のあるイベントは次の4つです。

- ・力自慢の消防士との「綱引き対決」
- ・炎に見立てたかごに玉を投げ入れる「防火玉入れ」
- ・災害時に身を守る方法を遊びながら学ぶ「ぼう

さいダック」

- ・着衣に火がついた際の対処法を学ぶ「ストップ・ドロップ&ロール」

これらの体験を通じて、子どもたちは消防を身近に感じることができます。

幼年消防クラブの活動は、未来の安全を守る種をまく取り組みです。

認定こども園 栗の実幼年消防クラブは、次世代に「防火防災」の心を伝え続け、私たちの社会にとっての大きな財産を育てていきます。



## 大和市少年消防団

神奈川県大和市少年消防団

運営委員会会長 山口 勝明



大和市少年消防団は、平成5年に発足し、現在は市内在住の小学4年生から中学3年生までの児童・生徒76人で構成しています。防火・防災について学び、自ら考え行動できる力を身につけ、災害のない社会づくりに貢献することを目的としています。

活動の主な内容としては、団結力を養う規律訓練をはじめ、消火訓練、普通救命講習の受講のほか、ロープワークなどの訓練に励んでいます。先日行われた、大和市民まつりでは、パレードに参加し、拍子木を打ちながら大きな声で「火の用心」を呼びかけ、地域全体の防火・防災意識の向上に取り組みしました。

また、避難生活施設運営訓練として、小学校の体育館で団員たちが主体となり、避難所の開設準備から受け入れまでの運営を実施しました。様々な事象を想定し、瞬時に判断、対応していくことが求められ、大人が実施しても難しい内容ですが、団員間で助け合いながら一生懸命に取り組む、解決していく姿は成長を感じる場面です。

子どもたちには、こうした活動を通じて、社会と地域の実態を知り、災害への備え方、対処の仕方を学んでももらえればと思います。そして、それをいつか実践することが必要になった時、地域の防災リーダーとして活躍してもらうため、その基盤を築く貴重な場として、大和市少年消防団があり続けられれば良いなと考えています。

